

日本百名洞に「溝ノ口岩穴」選定



溝ノ口洞穴（洞穴内からの風景）

財部町にある溝ノ口洞穴（県指定天然記念物）が日本百名洞に選定されました。溝ノ口洞穴は、入口の広さ13・8㍎、高さ8・6㍎、全長224㍎の大規模な洞穴です。約二万五〇〇〇年前に始良カルデラから噴出した大隅降下軽石層とシラスの溶結凝灰岩の中に形成されています。

今回は、溶結凝灰岩の岩穴としては国内最長を誇ることで、毎年4月に岩穴祭りが行われていることが評価されての選定となりました。皆さんも訪れてそのスケールを体感してください。

フレンズコンサートin SOO



左から岡本さん、沢田さん、辛島さん

9月20日、大隅文化会館で「フレンズコンサートin SOO」が開催されました。岡本真夜さんが「Tomorrow」、辛島美登里さんが「サイレント・イヴ」、沢田知可子さんが「会いたい」などの代表曲をはじめとして、多くの楽曲を披露されました。アンコールでは三人が揃って登場し、「上を向いて歩こう」を歌いました。三人の素敵な歌声と楽しいおしゃべりで、会場はあたたかい空気に包まれ、お客さんからは「最高!!」といった声が聞こえました。

県警察音楽隊ふれあいコンサート



「花は咲く」を皆で演奏・合唱

10月5日、末吉総合センターで「鹿児島県警察音楽隊演奏会ふれあいコンサートinそお」が開催されました。

第一部でレッツ防犯ソオルマンショー、末吉ジュニアコーラスによる合唱、末吉・財部高校吹奏楽部による演奏が披露されました。第二部で警察音楽隊が登場し、「あまちゃんのテーマ」や「美空ひばりメドレー」等が演奏されました。コンサートの最後は東日本復興支援ソング「花は咲く」の合同演奏・合唱の披露で、締めくくられ、客席は感動に包まれました。

地域安全運動曾於大会



「安全安心宣言」をする福満さん（右）高木さん（左）

10月11日、曾於警察署駐車場で、防犯ボランティアなど約二百名が参加し、「平成25年度地域安全運動曾於大会」が開催されました。

浦嶋曾於警察署長が「最近、高齢者の振込め詐欺が多発しており、管内でも30件の被害相談があります。地域が一体となって、被害防止へ取り組みましょう」と呼びかけました。また、一日警察署長の福満遼河さん、高木彩葵さん（大隅中央幼稚園）による「安全安心宣言」も行われ、参加者は笑顔で安全安心な街づくりを誓いました。



ミュージカルの様子

「ハロー、天使です!」

ミュージカル公演

10月8日(笠木小学校)、9日(月野小学校)に、劇団ドリームカンパニーによるミュージカル公演が開催され、市内4校から250名の児童が集まりました。この鑑賞会は、文化庁が主催する「次代を担う子どもの文化芸術鑑賞事業」の一環です。

事前に笠木小と月野小でワークショップがあり、本公演のラストシーンでは、全員で歌って踊り、会場中が盛り上がりました。公演をみた児童は「俳優になりたい」、「ミュージカルを見られて感動した」と話しました。



謝辞をのべる延時さん(右)

半世紀の絆を振り返り

10月9日、曾於市末吉総合センターで「合同金婚式並びにひとり金婚者のつどい」が開催され、結婚50年を迎えた70組の金婚者と24名のひとり金婚者の方々が出席しました。

出席者を代表して、延時^{のぶとしまきみちる}さんが、「長いようで短い50年でした。苦楽をともにしながら夫婦の絆を深めてきました。今後も人生を前向きに、ほがらかに過ごしながら円満な家庭を築いていきたいと思います」と謝辞を述べました。



真剣に話を聞く研修生

かごしま弁を学ぼう

9月7日、曾於市青少年リーダー研修生19名が、伝統文化の体験活動として、鹿児島弁を学習しました。

当日は、曾於市総合大学の講師である岩崎^{いわさき}勉さんが指導にあたりました。研修生は、まず自分が知っている鹿児島弁を挙げ、その後、「茶わん虫の唄」を歌ったりしました。慣れない鹿児島弁に苦労していた研修生ですが、徐々に理解を深め、最後は、鹿児島弁検定の初級問題にも挑戦しました。参加者の一人は「これからは、鹿児島弁を使うよう心がけたい」と話しました。



熱心に先生の話聞く子どもたち

「ジュニア陶芸」講座 一日研修

8月19日、曾於市総合大学「ジュニア陶芸」講座の受講生たちが、鹿児島市にある「かごしま文化工芸村」で研修を行いました。

研修では、作陶の方法や、道具の使い方について学びました。普段とは違う場所での研修は、とても充実した楽しい一日となりました。

講座は10月に終了しましたが、ベテラン指導者のもとで「世界にひとつ」だけしかないステキな作品ができ、受講生たちはとても満足していました。